

《私の好きな詩》----- 関 福生》

鯛の涙忘れずに

多分私は、皆さんのような金子みすゞさんを敬愛する読者ではありません。私は詩的な感性には縁遠い、散文的な発想の無骨者です。でも今回の寄稿が、自分にとっての金子みすゞさんの世界を見つめ直すよき機会になりました。

正直なところを云うと山口県生まれの詩人といえば、第一に思い浮かぶのは中原中也です。金子みすゞ26歳、中原中也30歳、二人とも夭折の詩人ですが、二人の詩は全くの対極です。自我、純粹精神を追求し、自恃の心を詠う中也と対蹠に位置するのが金子みすゞさんの世界ですよ。宗教で言えば、一方は自力本願の極みであり、もう一方は自我を脱し、自分の存在を客観視した他力本願の世界ですよ。

世の中、すべてが何らかの価値観に基づいて動いています。それは決して絶対的なものではなく、一方にとっての善は、他方の悪に成り得る。しかし、人はそれを理解せず、時には分かりながらもそれを無視して突き進みます。特に正義をかざしてしまうと、自分達だけが正しいと信じ切ってしまう。その結果世界から戦争は消えることはなく、テロの恐怖からも決して免れることはできない。そんな中、絶対的な正義など有り得ない、すべてが相対的な世界だと教えてくれたのがみすゞさんの詩だったので。

ここに挙げた『大漁』や『土』の詩はその典型でした。あることが上手くいけば、その陰には涙するものが存在する。そこに思いを致すことができるかが真の優しさだとを教えてもらったのが『大漁』の詩でした。何かに役立って初めて存在価値があると判断しがちですが、見方を変えると役に立たないのではなく、何に役立っているかが理解できないだけだということを『土』の詩は教えてくれました。花を育てる私には、雑草は敵ですが、そんな時にふと詩を思い出し、後ろめたさを覚えるのです。普段の生活や仕事のなかでは見失いがちな視点を思い出させてくれる存在として、これからも金子みすゞさんの詩を大切にしていきたいのです。

先日、鷺尾勘解治さんの講演録で『円融』という言葉を見付けました。仏教語で「それぞれの事物が、その立場を保ちながら一体であり、互いにとけ合っていて障りのないこと」という意味だそうです。私には金子みすゞさんの詩が、真の意味は理解していないかもしれない『円融』という言葉にオーバーラップするのです。おそらく私は、いつまでたってもその世界には辿り着けないのですが、これからも鯛の涙を忘れず生きたいものです。

大漁

朝焼け 小焼だ
 大漁だ
 大羽鯛の大漁だ。

浜は祭りのようだけど
 海のなかでは
 何万の
 鯛のとむらい
 するだろう。

土

こつつん こつつん 打たれる土は
 よい畠になって よい麦生むよ。

朝から晩まで踏まれる土は
 よい路になって 車を通すよ。

打たれぬ土は 踏まれぬ土は
 要らない土か

いえいえそれは 名のない草の
 お宿をするよ。



「金子みすゞ全集」
 JULA 出版局より

イラスト 尾崎眞吾

定例会日時のお知らせ

☆日時：毎月第2金曜日 AM10時～12時30分まで
 ☆場所：新居浜市まちづくり協働オフィス

ッセイ募集

☆私の好きなみすゞの詩
 ☆どしどしご投稿下さい。



石鎚みすゞコスモス情報



●会員期限更新の手続きをありがとうございます。
 した。(まだお済みでない方は、現在も受け付けています)
 7月19日、「石鎚みすゞコスモス」は11歳のお誕生日
 を迎えます。一緒に会を支えてくださった皆さまに感謝申し
 上げます。

●私たちは、下記の活動を行っています。
 どうぞお気軽にご参加ください。

- 定例会を毎月第二金曜日に開催し、金子みすゞ
 の詩を通してその優しいまなざしを学ぶ
- 年に一度、市民を対象に講演会・コンサート等を
 開催し多くの人々と感動を共にし、みすゞの心を広げる
- 「東日本・関東大震災義援金(みすゞ義援金)」(被災地
 の小学校へ金子みすゞの詩集を贈る)に参加協力する
- 自然と命の大切さを学ぶ夕顔運動への参加予定
 「よいこの皆さん！夕顔の咲く頃にはおうちに帰ろ
 うね」を、呼びかけ地域で子どもたちを健全に育てる
 意識を高める。
 ◆今年、宮西・金子・金栄・浮島・惣開・若宮
 多喜浜・中萩・大生院・別子の各小学校 500名に贈りま
 した
- ジャスコとイオン専門店街の一部が実施している
 『幸せの黄色いリボン運動』に参加する
- アルミ缶回収運動を推進する

第16回石鎚みすゞコスモスの集い 金子みすゞ生誕110年よせて 「金子みすゞ物語」…みんなを好きに…



★一部：講談

金子みすゞ伝
 一龍齋春水

★二部：お話と朗読

みすゞ探しの旅
 らくさぶろう
 みんなを好きに
 矢崎節夫

★ゲストとともに：

【矢崎節夫氏・一龍齋春水さん・

上村ふさえさん・らくさぶろうさん】

日時：10月6日(日) 13:30～

場所：リーガロイヤルホテル新居浜

みなさんの方法で、広報活動をお願いいたします
 (ご家族の皆さん・お友達にもお声がけください)

みんなで楽しい集いにしましょう
 ご協力をよろしくお願いいたします



JULIA出版局より
 金子みすゞ全集

みんなを好きに
 わたしはすきになりたいな、
 何でもかんでもみいんな。
 ねぎも、トマトも、おさかなも、
 のこらすすきになりたいな。
 うちのおかすはみいんな
 かあさまがおつくりなつたもの
 わたしはすきになりたいな、
 だれでもかんでもみいんな。
 お医者さまでも、からすでも
 のこらすすきになりたいな。
 世界のもののみいんな、
 神さまがおつくりなつたもの。

上村ふさえ(特別ゲスト)
 金子みすゞの長女。1926年山口県下関市に生まれ
 る。現在神奈川県在住。
 2003年4月、金子み
 すゞ生誕100年を記念し
 て、母と子の深い絆を感じ
 させる、『南京玉』(JUL
 A出版局が出版される。



詩作を禁じられ、みすゞが3歳
 の娘ふさえさんの言葉を綴っ
 た手帳(左) 金子みすゞ茶作保存会
 2003年4月、金子みすゞ生
 誕100年を記念して、母と
 子の深い絆を感じさせる、『南
 京玉』が出版される。(右)
 JULIA出版局より

